



2023年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年4月14日

上場会社名 ポエック株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9264 URL <http://www.puequ.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松村 俊宏
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 吉本 貞幸 TEL 084 (922) 8551
 四半期報告書提出予定日 2023年4月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2023年8月期第2四半期の連結業績（2022年9月1日～2023年2月28日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年8月期第2四半期	3,214	10.6	144	25.2	153	20.5	94	△0.3
2022年8月期第2四半期	2,906	△10.4	115	△12.3	127	△5.1	94	5.3

(注) 包括利益 2023年8月期第2四半期 94百万円 (3.7%) 2022年8月期第2四半期 90百万円 (△8.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年8月期第2四半期	39.99	—
2022年8月期第2四半期	40.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年8月期第2四半期	8,673	2,680	30.9
2022年8月期	8,141	2,675	32.9

(参考) 自己資本 2023年8月期第2四半期 2,680百万円 2022年8月期 2,675百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年8月期	—	0.00	—	38.00	38.00
2023年8月期	—	0.00	—	—	—
2023年8月期（予想）	—	—	—	38.00	38.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年8月期の連結業績予想（2022年9月1日～2023年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,276	8.1	265	△3.3	265	△9.4	141	—	59.95

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年8月期2Q	2,353,500株	2022年8月期	2,353,500株
② 期末自己株式数	2023年8月期2Q	1,170株	2022年8月期	1,170株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年8月期2Q	2,352,330株	2022年8月期2Q	2,352,330株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローの状況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、ウィズコロナの下で、社会経済活動の正常化が進みつつある中、緩やかな持ち直しが続いています。一方で、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっています。

このような経営環境の下、水処理及び環境機器の営業を一部アウトソースするなど営業の効率化に取り組んでまいりました。動力重機等事業におきましては、船舶、プラント機器需要が依然として堅調推移していることから関連機器の製造受託需要獲得に重点をおいた営業を展開してまいりました。全体としては、環境関連市場の需要獲得など、環境・エネルギー事業部門の牽引により、経営成績は堅調に推移しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高3,214百万円（前年同期比10.6%増）、営業利益144百万円（前年同期比25.2%増）、経常利益153百万円（前年同期比20.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は94百万円（前年同期比0.3%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(環境・エネルギー事業)

水処理機器の卸販売が堅調に推移するとともに、養殖市場に対する海水用ヒートポンプチラーの製造販売事業が引き続き好調に推移したことで、当第2四半期連結累計期間の経営成績は順調に推移しました。

以上の結果、環境・エネルギー事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は1,808百万円（前年同期比14.8%増）、セグメント利益100百万円（前年同期比119.9%増）となりました。

(動力・重機等事業)

船舶、プラント関連市場及び工作機械関連市場において需要は前期から堅調に推移しております。こうした環境にある中、受託案件の進捗もゆるやかに推移したことで、売上高は前年同期を若干上回りました。一方、一部の大型案件について、受注時での価格競争を受けて、利益率が減少しました。

以上の結果、動力・重機等事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は1,193百万円（前年同期比5.5%増）、セグメント利益88百万円（前年同期比18.1%減）となりました。

(防災・安全事業)

新型コロナウイルスの感染被害状況は徐々に改善しつつあり、病院等における消防設備の導入がやや活発となり売上高は増加しました。また、新規開拓にテレマーケティングをアウトソースして導入しているなど販売促進費用が上昇したことなどにより、係るコストが増加したことで利益は減少しました。

以上の結果、防災・安全事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は212百万円（前年同期比17.0%増）、セグメント利益7百万円（前年同期比29.7%減）となりました。

(2) 財政状態の分析

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は8,673百万円（前連結会計年度末は8,141百万円）となり、532百万円増加しました。

流動資産は4,204百万円（前連結会計年度末は3,730百万円）となり、473百万円増加しました。これは主に、現金及び預金が178百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が158百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

固定資産は4,469百万円（前連結会計年度末は4,410百万円）となり、58百万円増加しました。これは主に、建物及び構築物が179百万円増加した一方、主に建設仮勘定の減少によってその他が126百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は5,992百万円（前連結会計年度末は5,465百万円）となり、527百万円増加しました。

流動負債は3,499百万円（前連結会計年度末は3,122百万円）となり、376百万円増加しました。これは主に支払手形及び買掛金が106百万円、短期借入金が300百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

固定負債は2,493百万円（前連結会計年度末は2,342百万円）となり、151百万円増加しました。これは主に、長期借入金が156百万円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は2,680百万円(前連結会計年度末は2,675百万円)となり、4百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が4百万円増加したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、1,401百万円(前連結会計年度末に比べ234百万円増加)となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は13百万円(前年同期は168百万円の収入)となりました。これは主に、売上債権の増加により210百万円の支出等があった一方、税金等調整前四半期純利益により146百万円、仕入債務の増加により106百万円の収入等があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は90百万円(前年同期は174百万円の支出)となりました。これは主に定期預金の払戻による収入139百万円等があった一方、定期預金の預入による支出83百万円、有形固定資産の取得による支出143百万円等があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は338百万円(前年同期は253百万円の支出)となりました。これは主に長期借入金返済による支出542百万円があった一方、短期借入金の増加により300百万円、長期借入れによる収入677百万円等があったことによるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年10月14日の「2022年8月期 決算短信」で公表いたしました2023年8月期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,648,205	1,827,151
受取手形、売掛金及び契約資産	1,417,134	1,575,369
電子記録債権	120,112	143,343
商品及び製品	58,088	115,126
仕掛品	282,102	276,944
原材料及び貯蔵品	48,128	57,037
その他	160,931	213,248
貸倒引当金	△4,334	△3,878
流動資産合計	3,730,368	4,204,342
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	828,769	1,007,780
土地	2,093,102	2,093,102
その他(純額)	556,696	430,185
有形固定資産合計	3,478,568	3,531,069
無形固定資産		
のれん	5,867	5,433
その他	5,219	6,119
無形固定資産合計	11,086	11,552
投資その他の資産		
投資有価証券	308,604	307,033
その他	722,757	729,104
貸倒引当金	△110,242	△109,756
投資その他の資産合計	921,119	926,380
固定資産合計	4,410,774	4,469,002
資産合計	8,141,142	8,673,344
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	348,600	455,058
短期借入金	1,570,000	1,870,000
1年内返済予定の長期借入金	893,166	871,011
未払法人税等	50,379	61,057
賞与引当金	28,017	29,231
その他	232,796	213,033
流動負債合計	3,122,959	3,499,391
固定負債		
長期借入金	2,027,554	2,184,541
役員退職慰労引当金	21,781	23,646
退職給付に係る負債	153,653	157,782
その他	139,280	127,449
固定負債合計	2,342,269	2,493,419
負債合計	5,465,228	5,992,810

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,062,420	1,062,420
資本剰余金	920,120	920,120
利益剰余金	701,384	706,069
自己株式	△231	△231
株主資本合計	2,683,693	2,688,378
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△7,779	△7,844
その他の包括利益累計額合計	△7,779	△7,844
純資産合計	2,675,914	2,680,534
負債純資産合計	8,141,142	8,673,344

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)
売上高	2,906,339	3,214,729
売上原価	2,246,724	2,507,409
売上総利益	659,614	707,319
販売費及び一般管理費	544,264	562,894
営業利益	115,350	144,425
営業外収益		
受取利息	284	10
受取配当金	481	246
投資有価証券売却益	6,699	247
保険解約返戻金	48	376
固定資産賃貸料	7,872	8,154
補助金収入	2,838	4,763
その他	12,692	11,964
営業外収益合計	30,917	25,761
営業外費用		
支払利息	12,918	12,314
投資有価証券売却損	725	159
投資有価証券評価損	616	—
その他	4,227	3,755
営業外費用合計	18,487	16,229
経常利益	127,780	153,957
特別利益		
固定資産売却益	103	349
負ののれん発生益	20,001	—
特別利益合計	20,104	349
特別損失		
固定資産除却損	62	2,261
立退費用	—	5,500
特別損失合計	62	7,761
税金等調整前四半期純利益	147,822	146,545
法人税等	53,426	52,471
四半期純利益	94,395	94,073
親会社株主に帰属する四半期純利益	94,395	94,073

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)
四半期純利益	94,395	94,073
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,778	△64
その他の包括利益合計	△3,778	△64
四半期包括利益	90,617	94,008
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	90,617	94,008

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	147,822	146,545
減価償却費	74,354	83,144
のれん償却額	434	434
負ののれん発生益	△20,001	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△504	△942
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	645	1,865
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△46	1,213
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	26	△239
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	6,008	4,128
投資有価証券売却損益 (△は益)	△5,974	△88
投資有価証券評価損益 (△は益)	616	—
保険解約返戻金	△48	△376
有形固定資産売却損益 (△は益)	△103	△349
固定資産除却損	62	2,261
受取利息及び受取配当金	△766	△256
支払利息	12,918	12,314
為替差損益 (△は益)	133	121
売上債権の増減額 (△は増加)	119,586	△210,011
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△10,359	△64,365
仕入債務の増減額 (△は減少)	18,228	106,457
未払金の増減額 (△は減少)	△7,216	467
前渡金の増減額 (△は増加)	△36,034	△39,574
その他	△41,451	△26,753
小計	258,330	15,997
利息及び配当金の受取額	763	257
利息の支払額	△13,717	△12,186
法人税等の支払額	△76,701	△41,642
法人税等の還付額	—	23,604
営業活動によるキャッシュ・フロー	168,674	△13,970
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△77,550	△83,700
定期預金の払戻による収入	135,720	139,115
投資有価証券の取得による支出	△228,616	△162
投資有価証券の払戻による収入	207	262
投資有価証券の売却による収入	252,613	412
有形固定資産の取得による支出	△65,112	△143,588
有形固定資産の売却による収入	1,227	385
貸付けによる支出	—	△150
貸付金の回収による収入	—	60
子会社の設立による支出	△100,000	—
保険積立金の積立による支出	△2,038	△2,847
保険解約による収入	15,714	549
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△105,715	—
その他	△1,342	△818
投資活動によるキャッシュ・フロー	△174,892	△90,481

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△50,000	300,000
長期借入れによる収入	728,000	677,000
長期借入金の返済による支出	△836,178	△542,168
リース債務の返済による支出	△6,685	△7,499
配当金の支払額	△88,721	△88,397
財務活動によるキャッシュ・フロー	△253,584	338,935
現金及び現金同等物に係る換算差額	△133	△121
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△259,936	234,362
現金及び現金同等物の期首残高	1,540,342	1,167,172
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,280,406	1,401,534

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年9月1日至2022年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	環境・ エネルギー	動力・重機等	防災・安全	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,574,642	1,131,909	199,787	2,906,339	—	2,906,339
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,131	—	—	5,131	△5,131	—
計	1,579,773	1,131,909	199,787	2,911,470	△5,131	2,906,339
セグメント利益	45,690	107,670	10,848	164,209	△48,859	115,350

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益 (単位:千円)

	金額
セグメント間取引消去	△333
全社費用※	△48,526
合計	△48,859

※全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれんの発生益)

環境・エネルギー事業において、当第2四半期連結累計期間より株式会社マリンリバーの株式取得による連結子会社化に伴い、負ののれんが発生しております。当該事象による負ののれん発生益の計上額は20,001千円であります。なお、負ののれん発生益は特別利益のため、上記セグメント利益には含まれておりません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2022年9月1日 至 2023年2月28日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	環境・ エネルギー	動力・重機等	防災・安全	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,808,203	1,193,698	212,827	3,214,729	—	3,214,729
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,510	—	—	3,510	△3,510	—
計	1,811,713	1,193,698	212,827	3,218,239	△3,510	3,214,729
セグメント利益	100,482	88,205	7,622	196,310	△51,885	144,425

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益

(単位：千円)

	金額
セグメント間取引消去	△322
全社費用※	△51,562
合計	△51,885

※全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。